

CLIPPER

快速艇

No.129 2023 令和5年2月28日

不易流行

PTA会長 明石 智機



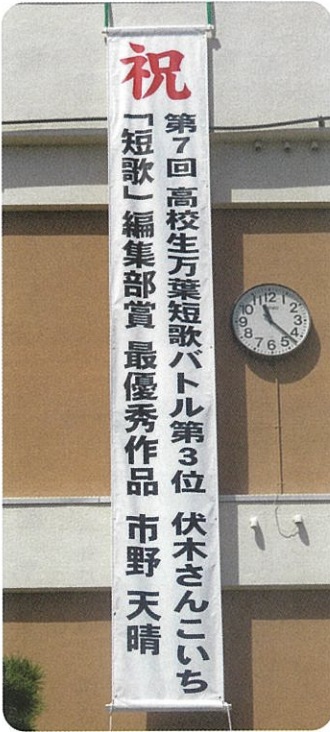
日頃より伏木高等学校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。この一年間、至らぬ点ばかりの私を多くの方々を支えていただき、温かいご指導やご協力をいただきまして事を重ねてお礼申し上げます。

私ごとですが、PTA活動に延べ19年携わらせていただき、一番印象に残っている言葉は、「子どもは家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」です。子育ては家庭だけでなく、学校の教職員の皆さん、そして地域の皆さんや各種団体の皆さんにご指導、ご協力、ご尽力いただいていることで成り立っていると感じます。昨今では、活動の負担が大きい、強制感が強い、形骸化しているなどの理由から、PTA離れが進んでいる地域もあります。しかしながら、子どもたちの健やかな成長を図ることを目的とし、親と教職員、そして地域が思いを一つにし、協力出来るこの活動は教育環境において不可欠です。「不易流行」の思いで、様々な変化を遂げる環境の中、時代に合った活動で継続していくことが必要です。

今年度は、校長先生をはじめ教職員の皆さんが子どもたちの為に、学校生活や活動を少しでも再開しようと新型コロナへのさまざまな感染拡大防止に配慮しながら、運動会、文化祭、研修旅行などを実施していただき、親として大変感謝しております。

子どもを通じて学校や地域に関われるPTA活動は、大人になった自分にとってまだまだ勉強させられる内容が多く、「生涯学習」の一環として取り組んで行ける活動だと思えます。

今後ともPTA活動への参加とご理解、ご協力をお願いいたします。



21世紀を生きる若者

副校長 大井 孝信



「十年樹木、百年樹人」。木を育てるのに十年、人を育てるのに百年を必要だという中国の格言である。日本人の寿命が、この50年間で1日当たり約6時間伸びているそうである。今の日本の子どもたちの半数は107歳まで生きる可能性があると言われている。人間の生存期間が1世紀に到達する時代が、まもなくやって来ることになる。中国の春秋時代は百生けるには現実的な数ではなかったと思われるが、21世紀に入り、現実のものになりつつある。言い換えれば、不可能を可能にする時代になってきたのではないかと解釈したい。

しかし今世紀に入り、世界各地で気候変動、環境汚染、人口問題、食糧問題、不透明な世界経済、新型コロナウイルス感染症、格差問題、宗教や文化の対立、紛争といった多くの課題を抱えている。現役の高校生はどのように教育を受け、学び、21世紀を渡り抜ければよいのであろうか不安がよぎる。現在、本校では、教育、国際理解、地域貢献等を進展させるために、諸機関等と連携し、拠点となり歩みを続けている。中国、韓国、ロシアへの海外研修は、感染症拡大防止や世界情勢の不安定の観点から3年間で中止となったが、交流はICTの活用で続けることができている。また、課外活動では、本校代表のチーム4名が万葉短歌バトルの富山県予選を突破し、全国大会では見事団体戦で3位に入賞した。身近なところから素直に短歌を読み上げ、自信をもって取り組み続けたことが大きな賞を得たことにつながったと思われる。新たな体験は、諸問題を自らの問題として主体的に捉え、新たな価値観や行動の変容をもたらすきっかけになっている。いずれもオンラインでの実施となり、現地で直接、体験や交流できなかったことは残念であるが、自ら歩み出す機会を発見できたことをこれからの力に変えていくものと期待する。

伏木高校は「一人の目標や思いを乗せて未来に向けて歩んでいる。人生100年時代は、「学びや行動する力」を「働く力」に変換し、持続可能な社会を実現していくことを目指して、数多くのチャンスを生み出す希望に満ちた時代でありたい。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

三学年国内研修

7月25日・26日

- 25日(月) バスで移動、新大阪江坂東急REIホテルにて宿泊
- ① 韓国コース：学校→京都国際中学高等学校にて交流会→大阪生野コリアンタウン散策→【夕食】韓国宮廷料理「白雲台」→ホテル
 - ② 中国コース：学校→北野異人館散策→南京中華街散策→ホテル→講演会(台北駐大阪経済文化辦事處氏)
 - ③ ロシアコース：学校→京都市レストラン「キエフ」(ロシア料理)→大阪ロシア領事館→ホテル→講演会(有限会社トライデント社長 岩佐 毅 氏)
- 26日(火) ホテル→ユニバーサルジャパン→(高岡駅)→学校

オンライン交流



21H アコリオ ハナメイ
夢に見た韓国人との会話、とても楽しかったです。一対一ではなかったけど、リアルタイムで本場の韓国語を聞いたときは本当に感動しました。日本語で一生懸命話してくれる姿に心を打たれました。積極的に関わろうとしてくれて、私も積極的に関わりたいと思いました。早く韓国語をマスターしてもっと韓国人の方と話したいと思いました。

韓国 (7月15日)

韓国コース

33H 伊藤 颯希

訪問した京都国際中学高校で韓国の服「チマ・チョゴリ」を着ました。画像やテレビでしか見たことがなかったので、実際に来てみてスカートがとても長く上の服は短くて、少し違和感がありました。でも、可愛くて一度は着てみたかったのでとてもいい思い出になりました。また、服を着ながら韓国の伝統のゲームをしました。折り紙で作った日本で言う「めんこ」を作り相手のおりがみをひっくり返す遊びやコンギというゲームなどをしました。また、高校生や学校の先生の話聞いて知らなかったことをいろいろ学びました。
夜には韓国宮廷料理「白雲台」に行きました。その店は有名人も

中国 (7月20日)

31H 澁谷 百音

コロナの影響でできなかった国際交流ができ、とても嬉しかったです。モニターから聞こえる速い中国語にとってもびっくりしました。モニターから流れる民族楽器の音や歌を通じて普段では絶対感じるような異文化を感じることができ、それだけで胸がいつぱいになりました。中国語と中国の文化が飛び交う環境でとてもわくわくしました。

ロシア (12月14日)

32H 釣谷 舞弥

前回よりもコミュニケーションをとることができ、趣味について聞くことができた。プーチン大統領が好きかどうか聞かれて答えに戸惑ってしまった。言葉が通じず相手が困っていたのでもっと話せるように、聞いて理解できるようにしたいと思った。



本気で通う店だそうです。お肉の種類がとでもたくさんありしかもおいしかったです。また、前菜にキムチがあり、私はキムチを食べるけど、このキムチはとでも辛くて食べられませんでした。

今まで韓国について学んできたのですが、遊びや服などの文化については詳しいことをあまり知らなかったもので、この研修旅行を通して学びました。初めての体験もできたのでよい思い出になりました。



中国コース

32H 櫻井 奏人

一日目の午後は、神戸北野異人館を訪れました。神戸北野異人館は、一九七七年(昭和52年)からスタートしたNHK朝の連続テレビドラマ「風見鶏」の舞台を実際に目にする事ができました。国にとって価値が高い歴史的街並みや、建物に入ってみて、昔の雰囲気を感じる事ができました。夕食は、南京中華街で中華料理を食べ、中国の雰囲気を感じることができました。お店では、フカヒレ料理をメインに、小籠包やエビチリ、炒飯などをコース料理として食べました。夜には、台湾についてのお話や、実際に大学の先生の授業を受け、中身の濃い経験を多くすることができました。
二日間の研修旅行に参加して、他国の文化に触れ合い、親しみを持つことの大切さを知ることができました。中国国内に訪れていなくても、本場にいるかのような雰囲気を楽しむことができました。異文化交流をすることで、新しい言語を習得したり、自分自身を深く知ったり、異なる価値観に触れ合ったりすることもできます。これから、進学するにあたって様々な経験をすることになると思うので、積極的にコミュニケーションの機会を得て成長していきたいと感じた二日間でした。

ロシアコース

32H 有澤 舞香

昼食はレストランキエフでロシア料理を食べました。コース料理で、ボルシチと、バラの花びら入りのジャムを溶かして飲むロシアンティーが特に美味しかったです。前菜で自家製ロシアパンを食べました。マーガリンがついてきたけど、パン自体に味がついていてとてもおいしかったです。ビーフストロガノフはご飯もルーの部分も初めて食べる味がしました。どれも初めての味ばかりで楽しかったです。その後は大阪ロシア領事館に行きました。冬と夏をイメージしたロシアで有名な彫刻家の描いた大きな彫刻や、時計の彫刻がありました。そのあとビデオでロシアでも有名な芸術のバレエ(くるみ割り人形)を見ました。繊細でしなやか



な動きがとても素敵でした。質問会では、領事の仕事はビザや証明書の発行、ロシア国民の支援などでロシア人は日本に主に留学、仕事、観光で訪れていることを知りました。そのあとホテルへ移動して有会社トライデントの岩佐社長による講演会を聞きました。そこではナホトカを訪問した時の話や、船舶運航会社開設、日露ビジネスセンター開設などたくさんの方の貴重なお話を聞くことができました。

ロシア料理については授業で学習していたけど、実物を見て、実際に食べたのは初めてだったので、知らない世界を知ることができて楽しかったです。岩佐社長による講演会も昔のロシアを知ることができ、貴重な経験になりました。

Больше и больше интересовать Россия!!!
(ますますロシアに興味が増えた)

世界の料理体験

韓国料理 (12月13日)

料理名
チャプチェ

講師
金 光淑先生

朴 元美先生



21H 川口 香乃

今回、金先生と朴先生に教えて頂き、韓国料理のチャプチェ作り挑戦しました。身近な材料と素材を利用して、チャプチェは、私が考えている以上に簡単に作る事ができました。先生と相談し友人と協力しながらのチャプチェはおいしく、とても楽しかったです。今度は家でも作ってみようと思えました。



中国料理 (12月15日)

料理名
水餃子

講師
鄒 姪先生

牧野さち子さん



32H 北條 瑠菜

今回の料理体験では、様々な人と協力することができました。丸い状態の皮を麺棒で伸ばす作業、できた皮一枚一枚に種を入れて包む作業、できた餃子を鍋でゆでる作業、後片付け等、地道な作業の繰り返しでした。私はできた皮で種を包む作業に取り組みました。餃子を皮からはみ出ないよう一つ一つ形よく包む作業はなかなか根気が必要で大変でした。かなり人が多く、その分の準備や片付けが大変だったけど、友人達と一緒に作ることができ楽しかったです。また、機会があれば作りたいと思いました。



ロシア料理 (12月16日)

料理名
カーシャ、

ジャム入り紅茶

講師
オクサーナ・ボンダレンコ先生



32H 釣谷 舞弥

オクサーナ先生からロシアの主食であるカーシャやジャム入り紅茶を紹介して頂きました。カーシャはソバの実を炊いてバターをまぜたもので、初めて食べました。普段食べることがないような、日本とは違った味が印象的でした。また、紅茶にイチゴジャムを入れることで飲みやすかったです。

今回、世界の料理体験に参加して、日本とロシアの食文化の違いに触れることができ、よい経験になりました。



吹奏楽部定期演奏会

吹奏楽部部长 奥野向日葵



今年の定期演奏会で新しい挑戦をしました。部員の数だけでは聞いている人を楽しませることができないと思い、琴部と一緒に演奏しました。音の出し方や強弱が違えば、琴の和と吹奏楽の洋の音の組み合わせも初めてでした。皆で意見を出し合い、一つひとつの音にこだわることができ、とても良かったです。定期演奏会の方向性に関して部内で意見が合わなかったり、少人数なので一人の負担が大きかったりなど、つらいことがたくさんありましたが、でも部員同士励まし合い、理解しあうことで気持ちが悪くなりませんでした。このメンバーでなかったら色々な壁を乗り越えることができなかったと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの方に協力して頂いたおかげで演奏会が成功したのだと思います。貴重な経験をありがとうございました。

第7回高校生万葉短歌バトル 全国3位

高校生の短歌日本一を決定する「第7回高校生万葉短歌バトル in 高岡」が開催されました。全国から予選を通過した8チームが、本戦にて、1チーム3名のトーナメント戦で戦いました。コロナ禍のためオンライン開催となりましたが、熱い戦いが繰り広げられました。本校生徒も伏木さん「こいち」というチーム名のもと、万葉衣装を身にまとい、大健闘しました。

個人賞 雑誌「短歌」最優秀賞受賞作品

靴紐を念じて結びタータンへ ゴールラインに高き空見ゆ
陸上競技の大会の光景を詠んだ。足下から空へという視点の移動で、記録も向上していくことを表す。チーム全員で切磋琢磨して獲った三位は思い出に残り、人生での大きな経験値を得ることができた。(32H 市野 天晴)



テーマは「等身大の青春短歌」。学校生活の何気ない出来事の中に題材を見つけて短歌を

作った。二回戦で惜しくも負けたが、敗北を経て、短歌の奥深さを知ると同時に共に闘った仲間の有り難さを実感した。

(33H 梅澤 遼多)

ゴールデンウィークから何度も集まって短歌作りの練習をした。決まったリズムで短歌を作るのは難しく何度も苦戦したが、それぞれ個性豊かな作歌ができた。高校時代最後の夏に良い思い出ができ、嬉しかった。

(32H 片山 萌花)

みんなで集まり意見を出し合ったり、短歌を作ったり批評し合ったりと部活動並みに活動したことは、とても良い経験になった。

(33H 京谷 響)

文化祭 (9月30日)

後期生徒会長 23H 大垣 恭也



ナ以前の

今年の文化祭の準備は昨年の制限を少し緩和した形でスタートしました。そのため、これまでのコロナ対策のどこをどのレベルまで緩和するかの見極めが大変でした。
その中でどうやって「生徒一人ひとりが積極的に参加できる場」を作ることができるか、生徒会執行部の役員同士で何度も集まり、時間をかけて話し合いました。その苦勞の甲斐あってかクラス企画や生徒会ステージ発表は、近年で最も自由で盛り上がった内容となり、コロナ以前の



文化祭の活気を取り戻すことができたのではないかと思います。

会長として自分は、学校の方針に耳を傾けながら生徒会執行部の役員にリアルタイムで指示を出すという仕事に慣れておらず、何度も自分の未熟さを思い知らされました。情報を共有するため毎日ぎりぎりまで残って下準備をするという状況に、正直疲れ果てていましたが、文化祭が大盛り上がりで締めくくられる場面に立ち会った瞬間、なんとも言えない気持ちで胸がいっぱいになりました。「このような貴重な経験は後にも先にもないかもしれない」と強く感じました。

協力してくださった先生方、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

職業人講話 (7月23日)

PTA 寺 安津子

私は、特別養護老人ホームほのぼの苑で介護福祉士をしております。今回、職業人講話に参加させて頂き、一二年生の皆さんにどのような話をしたらいいのか、すごく悩みました。

淡々と話すよりエピソードを交えて話した方が良い等色々なアドバイスをもらいました。自分が介護職に就いた理由から、介護士になり感じた事や経験した事を話しました。この話を聞いてくれた皆さんが少しでも介護という仕事に興味を持って頂けたら嬉しいです。

講師のお話を頂き私にとってスキルアップになりました。ありがとうございました。



球技大会 (11月10日)

サッカー部門

33H 山田 星空

今年の球技大会では、私はサッカーを選択しました。やるからには優勝を目指そうとチームで士気を高めました。そうするとプレーに気持ちが入り、負けている状態でも逆転勝ちをすることができました。その勢いのまま決勝まで勝ち、優勝することができました。チーム全員で勝ち取った優勝なので嬉しく思います。高校最後の行事でよい思い出になりました。

バレーボール部門

32H 古川慧瑠菜

今回の球技大会は、コロナ禍の中で、二年ぶりに全校生徒で行うことができました。

私にとっては、三年最後の球技大会だったので仲の良い友達とチームを組んでみました。メンバー



が六人しかおらず、一人が途中でケガをする等、決して楽な戦いではありませんでしたが、仲間と力を合わせ、部活で一生懸命取り組んだバレーボール部門で優勝できたことがとても嬉しく、最高の思い出の一つになったと思います。

大会がスムーズに行われたのは、生徒会執行部と体育委員会、周りでサポートして下さった先生方のおかげだと思えます。ありがとうございました。

大会結果

男子				
サッカー	優勝	33H	2位	13H
バレー	優勝	13H	2位	31H
女子				
バレー	優勝	32H	2位	12H
バドミントン	優勝	32H真木・立浪	2位	22H室崎・長澤
卓球	優勝	13H田中・稲垣	2位	33H伊藤・加藤

卒業に寄せて

3学年主任 堀田あけみ

皆さんの高校時代は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、行動制限やマスク着用など窮屈な思いをたくさんしてきたと思います。そんな中でも、皆さんは学習、部活動、学校行事に一生懸命取り組み、たくましく成長してきました。入学時には幼く頼りな

く見えた部分もありましたが、学校生活においてさまざまな経験を大きく成長しました。今、進路を決めて、社会という大海に漕ぎ出そうとしています。私は、皆さんに、「一隅を照らす(いちごうをてらす)」人になってほしいと願っています。この言葉は、社会に生きる私たち一人ひとりが自分の役割を認識して、できることを一生懸命やっていこうという意味です。

卒業おめでとうございます。これからも、皆さんには伏木高校で得た力や経験を生かし、力強くこれからの人生を歩んでほしいと思います。保護者の方々、地域の方々には、これまで見守っていただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。



挑戦

梅澤 遼多

期待と不安を胸に入學した日から三年が経ちました。思えばこの三年間は自分にとって挑戦の連続でした。特に生徒会には一年後期から所属し三年の前期には生徒会長を務めました。また、部活や第二外国語の学習に加え、二年の夏短歌の大会に出場させて頂きました。これらはすべて伏木高校にいたからこそ体験できたのだと思います。

また、この三年間で数多くの尊敬できる先輩や、支え合える同級生、高い志をもつ後輩に出会うことができました。彼らとの関わりを通じて、なりたいた自分の理想像を構築し、目標に向かって支え合い、助け合い、高め合うことで、自分自身が人間的に成長できました。

そして挑戦の中では一緒に行動してきた仲間はもちろん、先生方が挑戦を続けてくれたおかげで、本当にありがたい3年間でした。この



先の人生においても目的意識を持ち、周りと支え合いながら挑戦を続けて行きたいです。

PTA活動報告

総務委員会

上田 美香

総務委員の主な活動はこの広報誌「CLIPPER」の発行です。事前に担当の先生方と何度か集まり誌面の内容を何にするか意見を出し合います。前年度までの「CLIPPER」の内容を元に今年ほどの行事を大きく取り上げるか、また行事が増えたり減ったりするので、その調整も初めから考えておきます。

広報誌を発行するにあたり、写真の撮影や掲載文の依頼などを快くお受けいただきました皆様にはお礼申し上げます。また、次年度以降も原稿依頼などありましたら、ご協力いただけますと幸いです。

進路指導委員会

米 宣光

今年度の進路指導委員会の活動

は年に一回の職業人講話への講師の募集や当日のお世話です。この活動は進路選択に必要な情報や働く事の意義など講師の方々からの生の声を聞く事が出来る大変貴重な場であると思います。この日の為の準備にご苦労された先生方、お忙しい中、講師としてお話し下さった方々、お手伝いをして下さった委員今年度、皆様のご協力に深く感謝するとともに今後ともご協力宜しくお願い致します。

生活指導委員会

梅田 忠志

今年度は5月に伏木曳山祭りの巡回指導と6月にさわやか運動を行いました。

伏木曳山祭りは、街中で行われ、昨年は無観客であったこともあり、たくさんの方でにぎわいました。生徒達が安全に祭りを楽しめるよう

いつも以上に気を引き締めて巡回をしました。また、さわやか運動では、登下校路にて挨拶、声かけ、交通安全指導を行いました。

今後も活動については、安全・安心に生徒達が学校生活を過ごすためにPTA、教職員が協力して行っていますので、ご協力のほどをよろしく願います。

保健厚生委員会

小神 絵美

今年度もコロナ禍ということで「伏木十間道路クリーン作戦」には参加することができませんでした。

12月には、学校保健委員会が行われ、保健委員の生徒の発表を通して、環境美化やゴミ分別に取り組み、生徒達が主体となり、協力して活動していることを知ることができました。また、学校医の方々からは、コロナ禍での学校の過ごし方等のご

指導もいただきました。子供達が、気持ち良く学校生活を送れるようサポートしていきたいと思っております。今後とも皆様のご協力、宜しくお願い致します。

国際交流委員会

番匠 正美

国際交流委員の仕事として、友好校からの学生を迎えてのホームステイや歓迎会を交えた学校祭が行われる予定でした。この交流活動で伏木高校の全生徒が、他ではできない体験を人とのつながりから得られる事、思い出がまた一つ増える事、そして普段とは違った子供達の頼もしい姿が見られる事も楽しみにしていました。

本年度もコロナ禍の中、交流活動が中止となりました。また、いつの日か国際交流行事等全行事が再開され、他国との交流という特色ある伏木高校に戻れる事を願っています。

令和4年度 大会記録

- (サッカー部) 富山県U-18フットサル交流大会2022 準優勝 (陸上部) 第71回高岡市長杯争奪陸上競技大会 高校・一般男子100mの部 2位 市野 天晴(32H) (琴部) 第33回富山県高等学校日本音楽演奏会 日本音楽部門 優秀賞 第7回高校生万葉短歌バトル 団体3位 伏木さんこいち 市野 天晴(32H) 片口 萌花(32H) 梅澤 遼多(33H) 京谷 響(33H) 個人 角川「短歌」編集部賞(最優秀作品) 市野 天晴(32H) 第42回高岡万葉まつり全国万葉短歌大会 ジュニアの部 優秀賞 仲 陽紅(22H) 文苑堂54字文学賞 未来の作家部門特別賞 六田 結愛(11H) B+アイデア賞 松下晋多朗(11H) B+ホラー賞 坂東 俊希(12H) 第23回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール 優良賞 坂東 俊希(12H)

進路状況

(延べ人数) R5.1.31 現在

- 〈国立大学／9名〉富山、富山県立、金沢、新潟県立、都留文科、長野、静岡文化芸術
〈私立大学／20名〉富山国際、金沢工業、北陸、金沢星稜、金沢学院、立命館、名古屋商科、京都先端科学、岐阜保健
〈短期大学／9名〉富山短期、富山福祉短期、金沢星稜大学女子短期
〈専門学校／34名〉富山県高岡看護、北陸職業能力開発大学校、富山情報ビジネス、富山県理容美容、臼井美容、富山クリエイティブ、大原医療・スポーツ、富山医療福祉、富山県技術専門学院、金沢リハビリテーションアカデミー、国際ペット、専門学校金沢美専、国際医療福祉専門学校七尾校、金沢ウェディング・ビューティー、金沢科学技術大学校、新潟日建工科、東京総合美容、日本工学院、国際トータルファッション、東放学園音響、東京福祉、専門学校デジタルアーツ東京
〈就職／10名〉塩谷建設株式会社、BBSジャパン株式会社、JFEミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部、西日本旅客鉄道株式会社、アイシン軽金属株式会社、社会福祉法人射水万葉会、庄川温泉観光ホテル株式会社、富山県警察

行事予定

- 3/8(水)・9(木) 学力検査
3/24(金) 三学期終業式
4/10(月) 始業式・入学式
5/13(土) 教育懇談会
6/8(木) 体育大会

第2学年国内研修(3/15(水)~17(金))

- ロシア 函館方面 極東連邦総合大学で研修 函館にてロシア料理
韓国 下関・福岡方面 福岡市立福岡女子高等学校と交流
中国 長崎方面 佐世保商業高等学校と交流 長崎にて中華料理 観光(ハウステンボス・中国歴代美術館など)
下関・福岡にて韓国料理 観光(九州国立博物館 ・太宰府天満宮など)

あとがき

「CLIPPER」12月号をお読みいただき、ありがとうございました。一年早かったですね。高校生になると子供の学校での様子を見る機会が減り、親としては寂しい部分もありますが、子供達はコロナの影響を受けながらも学校生活を楽しく、友達と協力したり励まし合ったり、競い合ったりと確実に成長していることを実感した一年だったと思います。そんな姿を垣間見れる会報誌になっただけは嬉しく思います。至らない点もあったかと思いますが、今回発行にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(総務副委員長 吉田 照代)